



日本を代表する観光地と言える、箱根に新しい彫刻芸術の灯がともったのは、1969年8月1日でした。箱根の自然と近・現代の彫刻とが調和し、ほかにはないユニークで潤いのある空間をつくり出す一方、誰もが気軽に芸術鑑賞の機会がもてる場所…。それまでの常識を破った彫刻の森美術館は、内外から大きな話題を集めました。1984年にはスペインが生んだ巨匠パブロ・ピカソの作品を所蔵し、日本で初めてとなるピカソ館を開館しました。以来、次代を担う子供たちが美術に親しむ様々なプログラムを実施するほか、コンテンポラリーアートの紹介にも努めています。

そして2019年8月、当館は開館50周年を迎えます。これを記念してピカソ館の全面的なリニューアルを行っています。新しくなった展示室では、ピカソ・コレクションの数々をより魅力的にご堪能いただけます。

これからもアートを通じて、常に驚きや楽しみを多くの人々に提供していきたいと考えています。

彫刻の森探検隊 2019

難しいと思われるがちな彫刻作品ですが、鑑賞の方法をほんの少し変えてみることで、もっと楽しめることができます。

私達探検隊は、彫刻作品をより深く理解し、より楽しく鑑賞することを目的に活動しています。彫刻の魅力をさまざまな方法で発見し、日々探検を続けています。みなさんも是非探検に参加し、彫刻に対する理解を深めていただければと思います。彫刻との新たな出会いがあるかもしれませんよ。

探検 1：「Touch the Bronze! ブロンズ彫刻を体験しよう！」

ブロンズ彫刻ガイドツアーに参加した後に、1,000°Cを超えるブロンズの溶解デモンストレーションを体験していただけます。ブロンズの秘密に触れてみよう。

開催日：4/27（土）～29（月・祝）

時間：① 11:00～12:00 ② 14:00～15:00

集合場所：円形広場 参加料：無料

講師：伊藤一洋（彫刻家・有限会社山岸鋳金工房スタッフ）



ブロンズ溶解デモンストレーション

探検 2：「彫刻になろうよ！」

ダイナミックで力強い作品、ブールデルの《弓を引くヘラクレス》と同じサイズの弓と台座を使って、同じポーズをしてみよう。



エミール＝アントワーヌ・ブールデル
《弓を引くヘラクレスー大》

開催日：4/27（土）～5/6（月・祝）

時間：10:00～15:00

場所：円形広場 参加料：無料

探検 3：「彫刻の量と大きさを感じよう！」

ブロンズで作られたロダンの《バルザック》とミレスの《人とペガサス》と同じサイズの枠組みの中に入り、ブロンズの量と作品の大きさを体感しよう。



オーギュスト・ロダン
《バルザック》



カール・ミレス
《人とペガサス》

開催日：4/27（土）～5/6（月・祝）

時間：10:00～15:00

場所：円形広場 参加料：無料

探検 4：「野外美術館を探検しよう！」

「彫刻の森宝探しラリー」や「大人のための謎解きプログラム」に参加して、野外美術館を散策しよう！ 美術館オリジナルのスケッチブックもおススメです。



彫刻の森 宝探しラリー

開催日：4/27（土）～5/6（月・祝）

時間：9:00～16:30

受付：円形広場

参加料：彫刻の森 宝探しラリー 300円（税込）

大人のための謎解きプログラム 1,000円（税込）

美術館オリジナルのスケッチブック 1,300円（税込）

探検 5：「彫刻の森研究所」

彫刻の「そざい」「かたち」「くうかん」をさまざまな方法で分析した、来館者に大人気の参加型の常設展示企画です。

場所：マルチホール

参加料：無料



「自分彫刻」を展示してみよう！

探検 6：「くるくるシルク DX サーカス・パフォーマンス」

誰もが笑顔になれる、新緑と青空の下で楽しめるサーカス・パフォーマンスで、オープンエアを満喫しよう。

開催日：5/3（金・祝）～5/5（日）

時間：① 11:00～11:30 ② 14:00～14:30（各回約30分）

場所：円形広場 ※天候により変更あり

参加料：無料

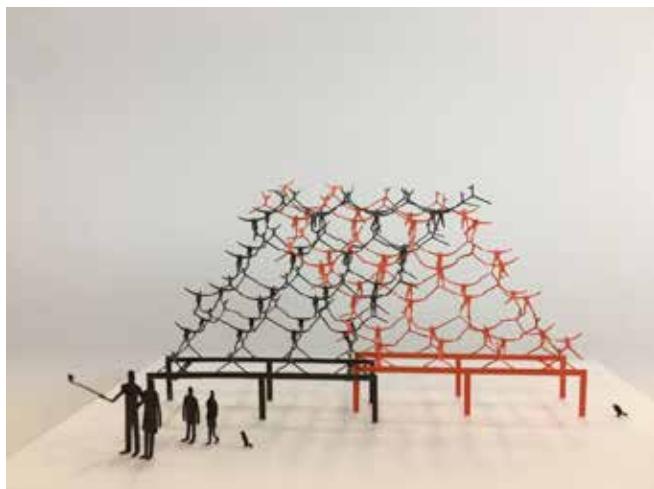


くるくるシルク DX（デラックス）

—ショッピー—

テラダモケイ 1/100 の物語

プレカットされたパーツを切り離すだけで組み立てることができる、建築模型用添景セットシリーズ「テラダモケイ」。今春、当館人気作品の後藤良二《交叉する空間構造》がシリーズにスペシャルエディションとして登場しました。1/100に縮尺された自分だけの小さな世界を創作してみませんか。



期間：

2019年3月9日（土）～7月17日（水）

場所：

ショッピングモール

価格：

1,620円（税込）

1/100 建築模型用添景セット スペシャルエディション

彫刻の森美術館編 01